

◆ 小牧市地域協議会推進市民会議について

1. 今までの経緯や現状など

- ・地域協議会の制度設計及び改善、各種事業への助言などを目的として「小牧市地域協議会市民会議」を平成 24 年 7 月に発足した。
- ・平成 25 年 6 月の制度方針制定以後は、既設地域協議会の事業報告がメインとなっていたが、地域協議会未設立学区での設立推進や既設協議会における活動の活性化に繋がるような具体的方策についてどう議論を深めていくかが課題とされていた。
- ・平成 29 年度で委員の任期（2 年間）が満了となることから、これまでの委員構成や役割について大きく見直し、平成 30 年度から新たな組織体として「小牧市地域協議会推進市民会議」を立ち上げることにした。

2. これまでの成果

(1) 「小牧市地域協議会に関する条例」の制定および制度方針の見直し

地域協議会の設立推進と活動の活性化を図るために、平成 30 年から 2 か年にわたり地域協議会推進市民会議において議論され、令和 2 年 4 月 1 日から施行された。

併せて、平成 25 年 6 月に制定された地域協議会制度方針についても、条例や後述の交付金制度の見直し、地域協議会の現状などを踏まえた見直しを行った。

(2) 小牧市地域助け合い交付金制度の見直し

地域協議会の活動状況（段階）に応じた交付金の上限額を引き上げや、地域協議会の設立に関する検討や準備を行う“準備委員会”に対しても市の交付金が活用できるようにするなど、地域助け合い交付金制度を見直した。

(3) 地域協議会代表者会議

地域協議会同士の情報共有の場として、平成 31 年 3 月に設置され、令和 4 年 5 月末までに計 9 回開催された。

会議では全地域協議会の代表者（1～2 名）が集まり、主に各地域協議会が抱えている懸案事項に対する意見交換やアドバイス、好事例の共有などが行われた他、with コロナの時代に向け、オンライン会議の体験会も実施した。



(4) みんなで育てる地域の手引き ～あなたが主役の地域協議会マニュアル～ の策定

地域協議会をはじめとする各種地域活動の円滑な推進、好事例の横展開などを目的に会議の開催や地域ビジョン（計画）の作り方、事業の企画、実施後の見直しなどの方法を取りまとめた手引書を策定した。

策定した手引きでは「地域協議会への期待」として、「防災」「防犯」「地域福祉」「児童交流」「多文化共生」「環境」の6分野を普遍的な地域課題とし、課題解決型事業を提案している。

(5) 地域協議会活動の啓発動画等の作成

地域協議会活動の普及啓発策の一環として、各地域協議会の活動や前述の手引書の使い方などを動画化し、動画共有サービス「YouTube」で公開している。

3. 今後期待される役割

(1) 地域協議会の活性化について

- ・活動中の地域協議会から、各地域の活動の現況や自慢、今後の課題（悩み）などを聞き取り、委員の専門的な知見から具体的なアドバイスなどを行う。
- ・令和3年度に策定した「みんなで育てる地域の手引き」をはじめ、制度方針、地域助け合い交付金などについて、地域協議会からの提案・要望も聞きつつ、内容の見直しなどを検討する。
- ・地域協議会同士や地域協議会と他の地域活動団体との協力事業の実施に向けて具体例を検討する。

(2) 地域協議会未設立校区への働きかけについて

- ・これまでの設立経過を踏まえ、現在未設立の地区への設立支援について検討する。

参考 スケジュールについて

	回数	開催月	主な内容
R4	第1回	5月	・委員委嘱、協議会紹介、今後の流れ確認
	第2回	8月	・各地域協議会代表者を交えたグループヒアリング ・活動に対する（前向きな）批評 ・課題解決、事業化に向けた提案
	第3回	11月	
	第4回	2月	
R5	第5回	5月	・ヒアリングを通して得た問題点やその解法のうち、 効果的と思われるものを手引きに反映
	第6回	8月	
	第7回	11月	・2年間の活動のまとめ
	第8回	2月	